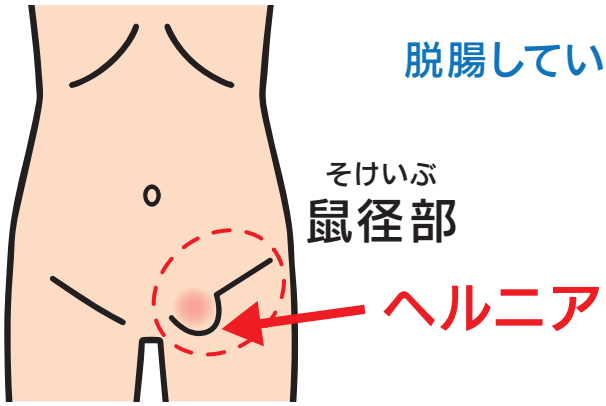
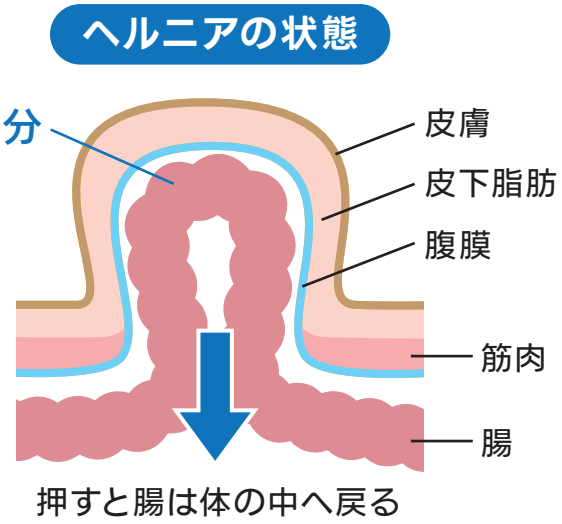
外　科

鼠径（そけい）ヘルニア手術のご案内

鼠径ヘルニアとは

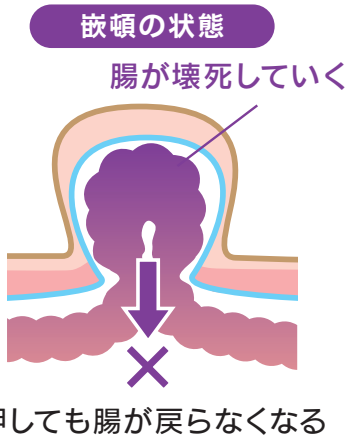
鼠径部（足の付け根）から、腸などの内臓が出る病気で、よく「脱腸」と呼ばれています。
腹壁の筋膜がゆるんで生じた穴を通して、腸などが飛び出します。





どんな症状？

鼠径部が膨らんできて、不快感や違和感、痛みが出てきます。立っているときに膨らみますが、横になると膨らみがなくなるのが鼠径ヘルニアの特徴です。特に、高齢の男性に多く見られる病気です。
内臓の脱出がお腹の中に戻らなくなった状態を「嵌頓（かんとん）」といいます。
嵌頓を放置すると、腸閉塞などで内臓が壊死してしまう場合もあります。



診断方法

主に、視診と触診で診断可能ですが、より正確に診断するために、
超音波検査やCT検査で詳しく調べることもあります。

治療方法

薬では治療できないので、外科手術が対象となります。



**検査や治療を希望される方は、
当院の外科を受診ください。**

朝日野総合病院 外科